

道徳資料研究委員会報告

委員長 渡辺 宏

◆研究テーマ「子どもが主体的に道徳的価値を追求していく学習過程のあり方」

サブテーマ「指導観を明確にした授業作りを通して」 の具現にむけ、平成27年度

更埴道徳教育研究協議会を下記（概要）の通り実施しました。

1 実施期日 平成27年 11月 12日（木）

※更埴道徳教育研究協議会開催に向け、事前授業の参観、指導案審議、実践レポートの検討等4回の委員会を開催した。

2 会 場 千曲市立東小学校

3 参加者範囲 信濃教育会代表

更埴教育会役員

更埴郡市小・中・特別支援学校道徳主任・道徳教育推進教師

更埴教育会道徳資料研究委員 など

4 指導者 長野県教育委員会北信教育事務所指導主事 野田久美子 先生

信濃教育会道徳教育研究調査部長 山崎 芳實 先生

5 参観授業 東小学校 5年1組 授業者 佐々木 優 教諭

題材名 「雨上がりの日のこと」 1—（6）

6 実践報告

① 中学校実践報告 道徳資料研究委員 松沢 勝美 先生（戸上小）

中2 主題名「勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神を持って、公共の福祉

と社会の発展に努める。」 指導内容 4—（5）

資料名「あまさのない職場」（私たちの築く道しるべ2 信教教育出版社）

② 小学校実践報告 道徳資料研究委員 立花 尚子 先生（上山田小）

小6 主題名「より高い目標を立て、希望と勇気を持ってくじけないで努力

する。」 指導内容 1—（2）

資料名「ぼくのマラソン」（わたしの道6 信州教育出版社）

長野県教育委員会北信教育事務所指導主事 野田久美子 先生より

実践を積み重ねていく中で、明らかになった部分を積み重ねていく研究のスタンスがよい。テーマにある「学習過程のあり方」の具現が、サブテーマ「指導観を明確にした授業作り」であり、その「指導観を明確にした授業」の中には、子どもの育ちをその時間だけではなく、別葉に基づいて学校生活全体で見とっていくという、一連の道筋が明確になっている。

明確な指導観とは、本時では1—（6）を軸として、それに関わって児童の姿をしっかりと捉え、その内容項目を子ども達が気付いていくために、この「雨上がりの日のこと」という資料があるといった、資料選定の根拠が明確に伝わってくる。この指導観（「教師の価値観」「教師の児童観」「教師の資料観」）があったからこそ、本時は「見とどけ」までねらいがぶれることなく、スッキリとした授業であった。

道徳全体計画から重点内容項目をきめ出し、その重点内容項目について、各学年ではどのように扱っていくのかという点について、各学年の年間計画及び別葉に明示されていることで、指導の流れが学校全体で共有されている。道徳の教科化に向けて

この道筋が非常に大切である。

本時扱われた内容項目は1－(6)「自分の特徴を知って、悪いところを改めよい所を積極的に伸ばす」であり、積極的にのばしていこうという「心情を深める」という道筋で行われている。板書が場面の状況を捉えた場面絵や子ども達の追求の過程を振り返ることのできるものとなっており、指導観・心情を深めるという観点に基づいて、キーとなる発言に色を付けるなどしてぶれなくきちんと整理されていた。

信濃教育会道徳教育研究調査部長 山崎 芳實 先生より

本日の研究協議会で出された意見を大切に受け止め、これからの信教版道徳資料集に生かしていきたい。

「道徳の時間」の教科化に向けて、信濃教育における道徳教育の歴史を踏まえ、長野県の子どもたちが、より豊かに生きていくための道徳資料集という意義を大切に、道徳教育のあり方や信教版道徳資料集についての議論を盛り上げ、「私」の「道徳の時間」の実践について、問い直しの輪を広げていただきたい。

◆今後の「道徳の教科化」が、目の前の子どもたちにとって幸せにつながるものでありたいと願い、本委員会でもさらに研究を深めていきたい。

【平成 27 年度 委員会構成】

◇世話係 市川 正之（八幡小長）

◇委員長 渡辺 宏（東小） ◇副委員長 北原 薫（埴生小）

◇委員 立花 尚子（上山田小） 木村 元昭（治田小）

平林 悠子（坂城中） 松沢 勝美（戸上中）

